



銀のたまご

VOL. 21

令和4年8月1日号



特集 シルバーの職人たち

張り替えならお任せください

花の管理と清掃(京成公津の杜駅前で)

＼ 高齢者が働くことに生きがいを感じ、地域社会に貢献する /
公益社団法人 成田市シルバー人材センター



特集

シルバーの職人たち

張り替えならお任せください

和室を引き立てる
襖や障子

襖や障子といえば和風家屋には無くてはならない建具のひとつです。襖の絵柄や色、さまざまな形をした障子が、和室の雰囲気を変えたり引き立てたりしてくれます。

そんな襖や障子も主な材質は紙と木材ですから年月とともに汚れや破損が目立つようになり、張り替えなどの手入れが欠かせません。以前はこの家庭にもあったため、障子などは自分で張り替えることが普通でしたが、最近は建築様式の変化で和室のある家が減ってきたためか、やり方そのものが分からないという人が多いようです。

成田市シルバー人材センターではこのような張り替えのお悩みを抱える皆さんのニーズに対し襖障子班員の熟練の技術でお応えしています。

今回の特集では、襖や障子の張り替えで地域に貢献するシルバー職人と、利用された人の声などをご紹介します。

建具屋の技術を生かす



東山 昭治 会員(臼作)

職人の経験と技術で

戦後まもなく建具職人となった東山会員は、その後自ら建具店を営んでいました。東山建具店として地域の工務店と連携しながら仕事を続けていましたが、ハウスメーカーの住宅が増え始めるにつれて仕事も徐々に減り始めたため、大栄町のシルバー人材センターで自分の技術を生かそうと入会を決めたそうです。

建具職人としての経験と技術があったため、襖や障子の張り替えも専門業者と同等の仕上がりで、時には講師として障子の張り替えの指導に当たることもあったそうです。平成18年に大栄町と成田市が合併し、それに伴いシルバー人材センターも統合されたため、東山会員も

成田市シルバー人材センターの会員となり現在に至っています。

壊れた襖の修理も

依頼があれば襖、障子だけでなく網戸の張り替えも引き受けます。職人としての技術だけでなく、自宅には建具店を営んでいたころの作業場がそのまま残っていて工具などは今でも使えるものが揃っています。多少壊れた襖でも修理しながら張り替えてできるのも東山会員の強みのひとつです。襖は、張り替えの仕事の中でも比較的技術が必要ということで、実際にその作業現場を訪ねてみました。

真ん中にノリはつけない

まずは襖の上に、裏返しにした襖紙を置いて手際よく刷毛で濡らしていく東山会員。すると紙は見る見る水を吸って伸びていきます。次に縁の方だけノリをつけ、中央部には何もつけずに下地の上に張り付けます。この方がきれいに仕上がるそうで、実際に乾いてから見てみると、でこぼこだった紙がピンと張っているのには驚きました。

襖紙には全部同じ柄の物と2枚ま

たは4枚が組になったつなぎ模様などがあるそうで、特につなぎは要注意。このような襖の場合は絵の組み合わせを間違わないように慎重に張っていくそうです。

難しい源氏襖

襖の種類は大きく分けると、縁の付いた「単板襖」と中央に窓のある「源氏襖」があるそうで、襖紙を切る工程が増える「源氏襖」が特に難しいとのこと。その訳は、切り方が難しい角の部分が窓のないものに比べ倍になるため、しかも縁板



現在も使用している作業場



熟練の紙切り



ノリづけ直後の襖



窓のある源氏襖

が無いため切り口のズレが隠せないからだそうです。技術が必要という紙切りについて、実際にヘラとカッターを使い熟練の技を披露。コマ何ミリという世界で、紙の伸び縮みも計算に入れて切っていくという正に職人芸です。

本人は「とにかくきれいに仕上げたいと思って仕事をしているが、思うように行ったことはほとんどない」と、いたって謙虚。この思いがいつまでも元気に仕事を続けられる原動力のようです。

特集 シルバーの職人たち

作業部屋の湿度は80%に



小川 暁子 会員(赤荻)

講習会に参加

シルバー人材センター入会のきっかけが、センター主催の襖障子張り替え講習会だったという小川会員は、元公務員という経歴の「シルバー職人」です。張り替えの仕事については自宅の障子で経験があったことと、趣味で掛け軸づくりを長くやってきたことで特に違和感もなかったそうです。緻密な作業が多い掛け軸づくりは、襖や障子の張り替えに共通するところがたくさんあったようで、その技術を張り替えの仕事に遺憾なく発揮しています。

小川会員の活動拠点はセンターの一角にある作業場で、ここは襖障子張り替え講習会でも使用しているため作業台もあり作業をするには最適

の場所です。最も依頼の割合が多いという障子の張り替えについて、仕事のコツなどを取材しようと訪ねて見ると、障子や紙・ノリ・刷毛などさまざまな道具に囲まれた小川会員の姿がありました。

ガラスの入った物は要注意

お客から預かった障子は、まず水で古い紙を洗い落とし、棧についたノリを拭き取ることから始めます。これをきれいに拭き取ることがとても大切で、丁寧に見直しながら取り残しが無いように注意しているとのこと。そしてここが最初のポイントだそうです。

障子の大きさは日本建築の寸法に合わせて3尺×6尺が基本で、種類は棧の少ない荒組障子や棧の多い縦繁・横繁障子、ガラスの組み込まれた雪見・猫間障子、下部が板の腰付障子などがあります。中でもガラスの入ったものは重さもあり、運ぶ時や作業で動かすときなどは特に気を使うとのこと。

ノリは薄過ぎも濃過ぎも

紙についてはお客様から特別な注

文がない限り、無地の上質紙を使用。ノリは市販の障子張り替え用のものですが、これをどのくらいに薄めるかがポイントで、水っぽいと棧の木の灰汁が出てシミになってしまうそうです。逆に濃過ぎると次に張り替えるときに紙やノリの掃除が大変になってしまふとのこと、この辺は技術というより経験がものをいうようです。

一般に、障子紙をうまく張るには、その時の湿度が重要といわれます。紙は湿度で伸び縮みするため、湿っていると紙が伸びて張りやすくなり



雪見障子と愛用の軽トラック

乾くとピンとなりきれいに仕上がるからです。小川会員は、張る時の作業部屋の湿度を80%にしているとのこと。電熱器でお湯を沸かして調整しているのですが、夏場は部屋の中が蒸し風呂状態になるため、体調には特に気を使うとのこと。苦勞して張り終えた障子紙が乾いてピンと張れたところを見ると最高の気分。こうして仕上がった障子を届け、お客様から「家の中が明るくなった」「きれいになった」といった声をかけられると一気に疲れも取れるそうです。



湿度はお湯の蒸気で調節



ノリの濃さがポイント

成田市勤労会館



住 所 成田市不動産ヶ岡1113- 1

電 話 0476-22-7992

利用時間 午前9時～午後9時

勤労会館は、市内の企業、団体の会議などに利用できます。また、市外の企業などであっても、市民向けの求人や面接などにも利用することができますので是非お問い合わせください。

利用者から

丁寧な仕事と仕上がりに満足しています



成田市役所経済部商工課
緒方 勤係長

今回張り替え業務をお願いした勤労会館は、平成2年に建てられた施設ですので必要な修繕箇所も多くなってきています。障子についても張り替えの時期がきていましたので迷わずシルバー人材センターさんをお願いすることにしました。シルバーさんには毎年勤労会館の受付などの管理業務を委託していて、とてもいい仕事をされているのを見ていましたから、障子の張り替えについても何も心配はありませんでした。会員の技術はもちろんのこと、張り替え作業中もこまめに連絡をいただきましたので、こちらも仕事の進み具合などが確認できてとても安心できました。新品のようになって戻ってきた障子(写真左下)を見ると、丁寧な仕事振りがよく分かる仕上がりで、しかも予算的にも安く済みましたのでとても満足しています。次は植木の剪定などをお願いしたいですね。

あなたの技能を シルバーで生かしませんか



成田市シルバー人材センターには障子・襖張り職人の他に植木剪定などの造園関係の職人や大工職人、除草作業に従事する職人などがいます。
センターではこれらの職種について技術と経験を持った人を募集していますので、入会を希望される人はシルバー人材センター事務局へご連絡ください。

●障子・襖張り

障子や襖の張替えのほか、網戸の張替えも行います。発注者への対応や必要な材料の手配、引き取り、納品まで全て個人で行います。引き取りや納品のための軽トラックなどが必要です。

●大工職

仕事の内容は棚などの作成、引き戸や扉の調整および修理、塗装などさまざまです。雨樋の修理、屋根の塗装などの場合、2階以上の作業は危険を伴うので引き受けられません。大工仕事の経験が必要となります。

●植木班

年間を通して作業がありますので身体が丈夫で体力があることが第一です。経験がある人はもちろん、「家で植木の剪定をしてい

る」といった植木に興味を持っている人も大歓迎です。剪定に必要な鋏、脚立、バリカンなどの道具や軽トラックは個人で用意していただきます。

●除草班

植木作業と同じく、屋外作業のため身体が丈夫で体力のあることが第一です。暑い夏場が仕事の最盛期なので暑さに強い人が向いています。草刈に必要な刈払機などの道具と、運搬に使う軽トラックは全て個人で用意していただきます。

また、主に女性を対象とし、鎌を使った草取作業が出来る人も随時募集しています。

あなたの技術と経験を地域で生かし、楽しい仲間と仕事をしませんか。

令和4年度定時総会を開催

新理事長に飯田氏を選出

成田市シルバー人材センターの令和4年度定時総会が、6月13日、午後2時より赤坂ふれあいセンター大会議室において小泉一成成田市長、両宮真吾成田市議会議長、米本文雄福祉部長を来賓に迎え、委任状を含めた会員393人の出席のもと開催されました。

議長には定款第16条の規定により下村理事長が選出され、令和3年度の事業報告及び令和4年度事業計画、

収支予算書等4件の報告があり、その後、提出された2議案(令和3年度事業報告・決算承認の件、理事15名及び監事2名選任の件)については、原案のとおり可決されました。

また、議案第2号によって選出された新理事長により総会後、臨時理事会が開催され、新理事長に飯田幸雄氏、副理事長に鈴木哲氏、業務執行理事に三橋栄氏が選任されました。

なお、三橋氏はセンター事務局長も兼任します。

新任あいさつ



理事長
飯田 幸雄

この度、理事長の任を担うこととなりました。
私自身もとより、浅学菲才の身ではございますがセンターの安定的な運営、健全な発展に向けて誠

心誠意努力して参ります。皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。
労働人口の減少が進む中、高齢者が地域社会の担い手として活躍することが求められております。鈴木副理事長共々、理事、監事、各部会、委員会の皆様と職員との連携を密にして、会員皆様の協力を得て、センター事業の更なる発展を目指して精一杯取り組んで行く所存です。
よろしくお願い致します。

新理事は15人に

新理事には新任の6人を含む15人(左記)が選任され、うち2人が女性です。また、会員ばかりではなく、成田国際空港振興協会(橋本理事)、成田商工会議所(宇野澤理事)などの関係団体からも引き続き理事を迎え、15人が新理事として理事会や普及啓発活動を行っていきます。
任期は令和6年6月までの2年間です。

- 理事長(新任) 飯田 幸雄
- 副理事長(新任) 鈴木 哲
- 理事(再任) 宇野澤 省二
- 理事(新任) 大竹 公男
- 理事(再任) 小澤 真人
- 理事(再任) 木川 邦夫
- 理事(再任) 後喜多 利一
- 理事(再任) 諏訪 峰雄
- 理事(再任) 竹内 芳子
- 理事(再任) 橋本 敬一郎
- 理事(再任) 堀江 道子
- 理事(新任) 成川 慎一
- 理事(再任) 吉田 昭二
- 理事(新任) 渡邊 信
- 常務理事 (新任) 三橋 栄
- 兼事務局長
- 監事(再任) 天野 茂
- 監事(再任) 窺 佳宏



会員紹介

「人との出会いこそ財産」

青柳 泰男さん(飯田町)



前に勤めていた仕事を終え、何かしたいと思っていた時に、知人からシルバー人材センターを紹介されたことが入会のきっかけで、今年で十一年になります。この間、いろいろな仕事を体験してきました。

通パトでは、地域の安全を守るために、防災放送を流してパトロールをしました。地区によっては通パトを楽しみに待っている人もいて、手を振ってくれたりもしました。こんなとき、人に喜ばれている仕事だと実感できて嬉しかったですね。

下総運動公園の管理業務では、四季の移り変わりを肌で感じながら、週に一回仲間と協力して管理棟やトイレなどの清掃作業をしました。しっかりと打ち合わせをしてから作業し、昼食を一緒に食べながら仕事

の内容を振り返り、次週の作業につなげていきました。園内を散歩する人から「きれいにしてくれてありがとう」と感謝の言葉をいただくこともありました。

公民館の管理業務では、来た人が楽しく、気持ちよく利用できるように、自分から挨拶をすること、館内を常にきれいに保つように心がけていました。

どんな仕事でも、そこでめぐり会った人と、その後もずっとご縁が続いていくことが一番の魅力であり財産だと感じています。また、シルバー主催のボランティア活動や様々なイベントも楽しみながら参加しています。

今は週末にテニスをしたり、午前中にウォーキングをしたりして健康維持に努めています。今後も、自分のできる範囲で楽しく、新たなことにチャレンジしたいと思っています。



下総運動公園

女性部会



マスクストラップ

女性部会の活動として3月28日にマスクストラップづくり、5月23日に新緑の成田山散

策がそれぞれ開催されました。

マスクストラップ作りには16人の女性会員が参加しました。細かいビーズに悪戦苦闘しながらも好みのビーズを手に取り、どのような組み合わせたらいいかを考えながら世界にひとつの素敵なマスクストラップ作りに挑戦。初めて参加した会員5人も「とても楽しかった。次も是非参加したい」と作ったばかりのストラップを手に満足そうでした。

また、成田山散策には18人の女性会員が参加しました。成田山ボランティアガイドの案内による境内の散策は3班に分かれて行われ、大本堂などについての説明を受けました。また、新勝寺僧侶藤本相談役の法話では、日本人の宗教に対

する関心の無さ、仁王様の顔が怖い理由、葬式でお経を上げる意味、お寺や神社などのお参りの方法など、内容をわかりやすく楽しく話していただきました。参加した会員からも「藤本相談役の話は分かりやすかった」「初めて知ることがたくさんあり有意義な時間を過ごせた」などの感想がありました。

わたしたち市民にはあまりにも身近でつい通り過ぎてしまう成田山ですが、参加会員にとっては改めてその奥深さを知ることができた一日となったようです。



藤本相談役の法話を聞く参加者

わたしの趣味 一切手アート

柳原 正 会員(玉造)

東京オリンピック(1964年)の記念切手の発売をきっかけに切手の収集を始めたころ、知人から使用済み切手を利用した飾り箱をもらいました。このとき使用済み切手が新たな作品に生まれ変わることに魅力を感じ、そこから使用済み切手の収集と作品制作に取りかかるようになりました。作品を作るには、大量に集めた切手の中から自分で決めたテーマに沿って分類することから始まります。そのため使用済の切手は「種類」や「シリーズ」「日付印」が分かるようにファイリングします。これらにこだわるほど、なかなかお目当ての切手が手に入りません。「東



使用済み切手と飾り箱

海道五十三次」シリーズの作品は、発表されたシリーズのすべての切手を使用済み切手で集めるのに50年以上もかかりようやく完結できました。苦勞しただけに自分でも満足している作品のひとつです。使用済み切手を集める作業はとても大変ですが、月に一度仲間同士で集まり情報交換をしながら「自分たちが満足できる作品を作りたい」という思いで取り組んでいます。公民館まつりなどで作品の展示や飾り箱のような小物の販売も行っています。いろいろな展示会で作品の説明をしている時がとても楽しいですね。



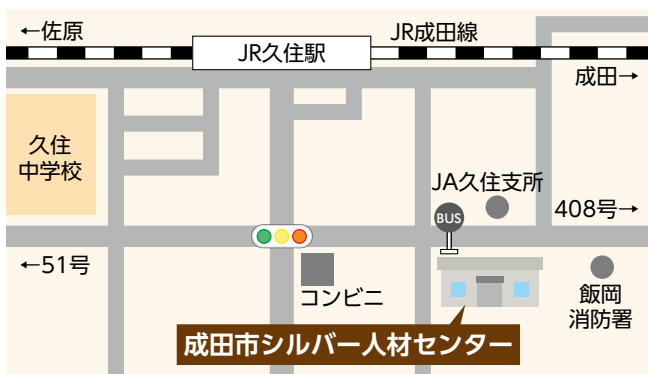
事業実施状況報告

事業実施状況報告(4月~9月)

		令和2年度	令和3年度
会員数	男	380人	382人
	女	97人	97人
	合計	477人	479人
就業実人員		419人	421人
就業率		87.8%	87.9%
受託件数	公共機関	477件	480件
	民間企業	764件	814件
	一般家庭	1,745件	1,737件
	合計	2,986件	3,031件
契約金額		184,229千円	196,348千円

契約金額、受託件数とも微増

令和2年度と比較すると会員数はほぼ変わりませんでした。女性会員は全会員数の20%と低くその人員拡大が課題となっています。除草の受注はお盆前に集中し、1カ月以上待ちの状態となりました。また、植木の受注は就業会員の減少により年度内の受注を11月で終了しました。新型コロナウイルスの影響を受け、契約金額、受託件数とも2年度までは減少していましたが、3年度は契約金額が12,119千円、受託件数は45件の増加となりました。



編集・発行 公益社団法人 成田市シルバー人材センター 広報部会

〒286-0819 成田市久住中央1丁目12番地3

TEL 0476-36-6161 FAX 0476-36-6711

http://webc.sjc.ne.jp/narita/index

E-mail: narita@sjc.ne.jp

〈受付時間〉

月~金曜日 午前8時30分~午後5時15分

(土日・祝日、年末年始除く)



編集後記

何事も自分が関心を持っていないものは目に入らないもの。今回の特集に出てくる襖なども、自宅で毎日見ているはずなのに、取材中にその絵柄が浮かばず、帰ってからようやく絵の内容が分かった次第で全く恥ずかしい限りです。ところでシルバードで障子の張り替えをした勤労会館がどこにあるかご存知ですか。JR成田駅からエスエス製薬方面へ向かう幹線道路沿いですからほとんどの方はこの建物を目にはしているはず。知らなかったという人は、会員の就業先でもあるので通過の際は「関心」を持ってご確認ください。ただし車の人は脇見運転にご注意を。